

令和8年度福井県立南越特別支援学校スクールプラン

福井県教育委員会

一人一人の個性が輝く、
ふくいの未来を担う人づくり

～子どもが主役の「夢と希望」
「ふくい愛」を育む教育の推進～

(福井県教育振興基本計画の基本理念)

校訓 元気に やさしく 輝いて

<目指す学校像>

- 児童生徒の多様性を尊重し、一人一人を大切に作る学校
- 安全で安心して学べる学校
- 家庭や地域・関係機関と連携し、信頼される学校

教育目標 健やかな身体と豊かな心を持ち、人とかがわりながら、自分らしく生き生きと、社会の中で生活できる子どもを育成する。

<目指す子ども像>

- 自分で考え、自分で選び、自分で決めて、思いを伝える子(主体的な学び)
- 経験や体験した学びを生活に活かせる子(思考判断表現力)
- 自分のなりたい姿を思い描き、目標に向かって歩み続ける子(共生社会、深い学び)
- つながりあって学びを広げ深める子(学びの連続性、対話的な学び)

教育方針

- ①多様な教育的ニーズに対応した教育活動を行い、個別最適な学びと協働的な学びを保障する。
- ②幼稚部から高等部までのつながりを重視し、個々の学びや育ちを積み上げる。
- ③様々な体験を通して、自己理解や自己受容をすすめ、自己肯定感を高める。
- ④関係機関と連携しながら、交流活動や進路指導・相談機能を充実させ、地域の特別支援教育を推進する。

学校業務改善のための取組

- ・教育のDX化を図り、業務の効率化、勤務時間の有効活用を意識する。
- ・ワークライフバランスや職場環境改善に自分事として取組む。

人権教育の推進

- ・自己肯定感を高め、自分や他者のいのちを大切にすることを育てる。
- ・互いに助け合い、協力する活動を推進する

<キーワード>進化と深化
つながる→深める→積み重ねる

重点目標

<p>教育課程・学習支援 学びを深める (図書研究部 教務部)</p> <p>子どもたち一人一人を丁寧に見取り、子どもたちに応じたねらいと支援、評価のつながりを反映させながら授業づくりや授業改善を行う。</p>	<p>生徒支援 人と交わる (指導部 保健部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが活動を通して交わったり、つながりを感じたりすることができるように支援する。 ・子どもたちが各学部の活動等において明るく元気に活動し、日ごろの学習の成果を発表できるように支援する。 	<p>進路支援・生活支援 関係機関・未来へつなげる (進路指導部 渉外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談や進路希望調査、PTA活動、座談会などから、生徒保護者が必要としている情報を探り、関係機関と連携しながら、進路選択や生活支援に必要な情報を継続的に収集・発信する。 	<p>地域支援 地域とつながり育む (教育相談部 学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習や地域との連携を生かした諸活動が有意義な学びとなるよう、クラスやグループ、学部等でねらいを明確にした目標設定と振り返りを通して学びを深め、双方向かつ継続的な関係づくりを意識して諸活動を実施する。 	<p>組織運営 教職員のつながり／危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員のつながりを深め、協働的な学校組織をつくる。 ・働きやすさと働きがいを両立し、持続可能で教職員がチャレンジを楽しめる学校運営を行う。 ・起こりうる様々な危機に関して、組織としての危機対応力の向上を図る。
--	--	---	--	--

具体的取組

<ul style="list-style-type: none"> ・単元(授業)シートや年間指導計画、子どもの記録シート、個別の教育支援計画などを、授業づくりのサイクル(PDCA)の中でより効果的に活用できるように発信していく。 ・子どもの見取りを適切に行うことができるよう、専門性向上のための研究会や外部講師を迎えての研修会を行う。 <p>目標:子どもたちの充実した学びと教員の専門性の向上(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執行委員会と協力して、子どもたちが一緒に活動し、交わったり、つながりを感じたりすることができるような企画、運営を支援する。 ・各学部の活動等において子どもたちが明るく元気に活動し、日ごろの学習の成果を発表できるように練習計画及び活動場所の調整等を行う。 <p>目標:児童生徒がつながりを持つための支援の充実。(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会の開催や、進路相談、進路だより、情報集の発行を通じて、児童生徒、保護者、教職員に情報を提供する。 ・進路説明会を開き、生活・就労を支援する制度、進路学習の流れ、制度利用の手続きなど、進路選択や生活支援に必要な情報を発信したり、小、中学部に向けた進路だよりを発行したりして、各年代のニーズに沿った情報を提供する。 ・丹南地区自立支援協議会が主催する「合同セミナー」の内容や時期、保護者への周知の方法を検討し、参加を促していく。 <p>目標:進路選択や生活支援のための情報提供の充実。(70%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスやグループ、学部会等で事前の目標設定と事後の振り返りを行い、活動のねらいを明確にするとともに、交流先との双方向の情報共有を通して成果と課題を整理し、継続的な関係づくりを推進する。 ・交流活動を学校全体で支える取組になるよう、役割分担の明確化や情報共有の充実を図り、継続的に実践できる体制を整える。 <p>目標:交流および共同学習や地域との連携を生かした諸活動の充実。(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世代や経験の差を越えて協働できる体制を作るために、学部・校務部を超えたクロスセッションの継続やチームス等を活用し日常的につながりを感じられる文化を醸成する。(協働のしくみ作り) ・教職員の業務を適正化・見える化する。(働きやすさ) ・教職員一人一人の強みを活かし、主体的に貢献できる場を上げたり、チャレンジを楽しめるようバックアップすることで働きがいと専門性の向上を支える。(働きがい) ・有事の際に適切な危機対応ができるよう、各種対応マニュアルの実効性を確認し、必要な改善・共有を行う。(危機対応力の組織的向上)
---	---	---	---	---